



金山焼

梵珠少年自然の家

1 活動のねらい

- ・活動の思い出となる手づくりの記念品を作り上げることができます。

【教科への対応】 小学校：図画工作など 中学校：美術など

2 活動の概要

五所川原市金山地区で採れる良質の粘土を使った地域の陶芸「津軽金山焼」の製作を当施設で体験する活動です。



<作品例1>

- (1)人数 160人以内
- (2)対象 小学校3年生～中学生・高校生
- (3)期間 通年
- (4)時間 2～3時間（説明30分＋活動90～150分）
- (5)場所 体育館、研修室1・2
- (6)経費 460円／1作品(粘土300g)
- (7)指導 製作方法等について、自然の家職員が説明（直接または間接指導）を行う。

3 準備物

団体	救急薬品
個人	特になし
自然の家	材料：粘土 用具：ブルーシート、乾燥箱、洗面器、ベニヤ板、テグス、弓、へら、ニードル簪、スポンジ、雑巾、作業板

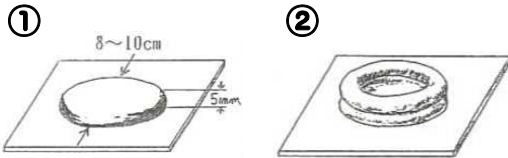
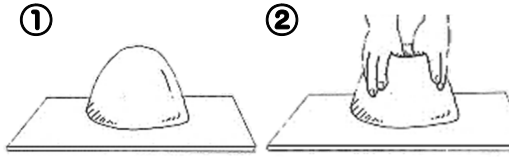
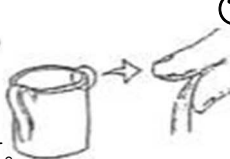
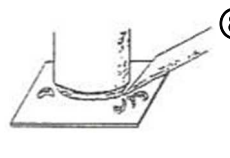
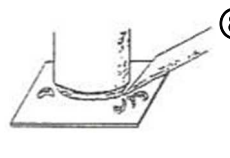
4 引率者の役割分担

代表責任者	1名。全体の総括、指揮、連絡にあたる。
活動支援者	数名。子どもたちの活動を支援し、安全と事故防止に努め、緊急時に対応する。



<作品例2>

5 活動の流れ

	内 容
説 明	- 参考作品を提示しながら、作り方について説明 ※製作手順説明動画視聴 - 用具の使い方と安全について説明
活 動	（例）マグカップを作る。 【技法1】 - 作業ベニヤ板の上に、丸く平らに伸ばし底部を作る。(厚さは5mm程度) - 太さの一定なひも状の粘土を底部外周にのせ、一周させた後、よく密着させる。  【技法2】 - 作業板の上に、粘土の半分を取って山を作る。 - 山の頂上に、両手の親指で穴を開ける。  ③ カップの形を整える。高さを出すときは、粘土の残り半分で作った輪を積み重ねる。   - 輪と輪のすき間は手やへら、少量の水をつけたスポンジでつぶす。 - ベニヤ板を回転させると作業しやすい。 - 側面が広がらないようにする。 - 形を作るときは、1) 高さは15cm以内。 2) 大きさは作業板からはみ出ない。 3) 厚さは5mm以上（特に底面）とする。 - 表面に水をつけすぎない。 ④ 口の不ぞろいな部分を切り落とす。 - 弓を固定し、作業板を回しながら切る。2人でやると上手くいく。 ⑤ 細長い粘土をつけ、「とって」にする。 - マグカップ本体によく密着させ、一体となるようにする。  ⑥ へらや箸、ニードルを使い模様をつける。 ⑦ 唇のあたる部分を指でつぶし、スポンジ等でなめらかにする。  ⑧ 底の余分な粘土をへらで削り取り、角を落とす。 ⑨ 作業板から取れないときは、テグスを使って作業板から切り離す。  ⑩ 底面にニードルで所属、氏名、製作月日をみやすい字で書く。 (忘れずに！) ⑪ 作品を乾燥箱に入れる。  
まとめ	- 感想発表や友達の作品の鑑賞 - 用具の返却と後片づけ

6 実施上の留意点

- 製作後、乾燥～焼き上がりで約3ヶ月程度かかる。
- 焼き上がった作品を金山焼店舗に直接受け取りに行くか、着払いで発送してもらうかを選択する。

7 安全に実施するためのポイント

- ニードルの扱いに十分気をつける。